

市長の施政方針に対する文書質問への答弁

会 派 名	質 問 議 員
自由民主党	千葉 良秋 議員
<p>千葉良秋議員の施政方針に対する質問に順次お答えをいたします。</p> <p>テーマ1－①につきましては、親元同居・近居支援補助制度に加えて、令和2年度から若い世代の住宅取得支援補助制度を実施しておりますので、直接的な施策としては、これらの制度の活用を促進してまいりたいと考えておりますが、これらに併せて、現在策定中の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる各種施策を推進することで、本市の魅力を一層向上させ、それを若者にアピールすることで、転入者の増加を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>テーマ1－②につきましては、これまでどおり、広報さやまや公式ホームページ等によるPRを行うとともに、昨年度から実施している本庁舎での出張登録につきましても、引き続き実施できるよう県に依頼いたします。</p> <p>また、これらに加え、市内企業に向けて、積極的なPRを行ってまいります。</p> <p>テーマ1－③につきましては、公募で決定した社会福祉法人による定員90人、夜8時までの延長保育及び障害児の受け入れを行う認可保育所を東三ツ木地内に整備するものです。</p> <p>テーマ1－④につきましては、現在、1人のICT支援員が各小中学校及び教育センターに年間4日間訪問しておりますが、令和3年5月より、週1日、年間40日間へと拡充するものであります。</p> <p>テーマ2－①につきましては、土地利用転換構想地区における現在の土地利用や法規制などの状況を踏まえ、実現性の高い地区を政策決定し、令和3年度には地元権利者の合意形成や埼玉県をはじめとする関係機関との協議に着手してまいります。</p> <p>テーマ2－②につきましては、さやまの事業者応援金の第2弾として、令和2年1月から令和3年1月までの売上が前年同月比20%以上減少している小規模事業者等に対して、一律10万円を給付することとし、2月22日から申請受付を開始いたしました。また、国や県による休業支援金・給付金制度や飲食店を対象とした感染防止対策協力金制度などについては、より多くの方が活用し不安を解消できるよう、商工会議所と連携し制度の周知や申請手続きを支援してまいります。</p> <p>さらには、さやまのお店全力応援サイトの活用を飲食店などに促すとともに、感染対策に十分に配慮したイベント等の開催等、売上げの向上に向けた支援を行ってまいります。</p> <p>テーマ2－③につきましては、現在、常勤のセンター長、プロジェクトマネージャーのほか、非常勤のITアドバイザー2人とデザインアドバイザーにより支援しております。引き続き、売り上げ拡大や新商品の販売に欠かせないホームページやSNS、ネットショップなどの販促用ツールについて支援してまいります。</p> <p>テーマ2－④につきましては、平成23年から入間地域の13市町と県、JAいるま野が「いるま地域明日の農業担い手育成塾」を設置し、農地の確保や営農の相談、さらには行政支援策の活用の相談など、新規就農希望者が着実に就農できるよう支援しております。現在の本市の状況としては、2人の入塾生がおり、令和3年度以降も入塾を希望する者が複数人見込まれております。</p> <p>テーマ2－⑤につきましては、新狭山北口商店会において若い世代の経営者など</p>	

が中心となって、地域に対する愛着の醸成を図るとともに買い物を通じたコミュニケーションの場を創出するため、商店街の店舗のシャッターに絵を描くシャッターアートやシンサヤママーケットなどを実施しております。引き続き、これらの事業を継続していくための組織づくりとともに、空き店舗等の遊休不動産を活用したりノベーション事業などの実施に向けて、豊富な知識と経験を有する商店街活性化の専門家や地域の経営者、学生等と協働し、積極的に支援してまいります。

テーマ2-⑥につきましては、狭山市駅加佐志線は、令和5年度の供用開始に向け、用地取得を進めるとともに雨水管築造工事及び道路改良工事を実施し、併せて課題となる排水経路の整備に取り組んでまいります。また、笹井柏原線につきましては、用地取得の進捗に伴い、雨水管築造工事及び道路改良工事を実施し、令和4年度の供用開始に向けさらに整備を進めてまいります。

テーマ2-⑦につきましては、水道の耐震化率は、令和元年度末で、管路は84.9%、浄水施設は12.0%、配水施設は78.4%となっております。改修計画につきましては、第2次狭山市水道ビジョンに基づき実施しており、管路は令和12年度までの完了、浄水施設及び配水施設は令和7年度までの完了を目途とし、計画的に耐震化工事を実施してまいります。

また、下水道は、狭山市地域防災計画に位置づけられた緊急輸送道路に埋設している公共下水道管など約120kmを耐震化の対象としており、耐震化率は令和元年度末で56.6%となっております。改修計画につきましては、狭山市下水道総合地震対策計画に基づき、対象管の診断と調査を進めるとともに、対策を要する箇所については、計画的に耐震化工事を実施してまいります。

テーマ3-①につきましては、第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、認知症サポーターの養成や高齢者が自宅や住み慣れた地域で安心して生活をしていくための住民同士の支え合いの仕組みづくりに対する支援や身近な場所で実践できる介護予防の体操である「いきいき百歳体操」の自主グループの立ち上げや活動に対する支援などを行ってまいります。

テーマ3-②につきましては、デマンドバスが利便性の高い交通サービスとして、導入する地域に広く浸透することにより、当該地域における高齢者の免許自主返納の促進にもつながると捉えております。また、茶の花号の運行につきましては、車両の小型化や運行ルートの見直しなどを検討してまいります。

テーマ3-③につきましては、図書館では、これまで、あらかじめ司書が選定した図書を「お楽しみパック」として貸出すほか、無料で閲覧できる電子書籍のサイトの紹介などを行ってまいりました。今後は、利用者自身が図書の借用手続きを行えるよう取り組んでまいります。

博物館では、学芸員の解説による文化財を紹介する動画を作成し、配信する事により、来館することなく、誰もが気軽に文化財や郷土の歴史に触れる機会の提供をはじめており、今後も、こうしたコンテンツを増やしてまいります。

テーマ4-①につきましては、地区防災計画を策定することにより、地域の住民と関係機関がその地区における災害リスクを認識し、発災直後の応急活動から復旧復興までの役割分担を予め決定し、これに基づいた訓練などを継続的に実施することなどにより、地域防災力の向上が図られるものと考えております。

テーマ4-②につきましては、定例的な事務作業を自動化することにより、窓口対応等の相談業務や政策的判断を伴う企画・審査業務など付加価値の高い業務に職員を配置し、職員の減少が見込まれるなかでも、質の高い行政サービスを提供して

いこうとするものです。

テーマ４－③につきましては、国において、脱炭素社会の実現に向けた関係法令及びそのためのロードマップの概要が今国会終了後に示される見込みであり、これらを踏まえ、令和３年度に策定する第３次環境基本計画において、具体的な目標を設定することとしております。また、啓発活動につきましては、市民、団体、事業者等と協働し、環境学習やイベント等のあらゆる機会を通じて、取り組んでまいります。

以上であります。